

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立高島高等学校
全日制課程

1 計画の概要

- ・近隣の中学校との部活動を通じた交流により、中高生の触れ合いの中で共生意識を高める。
- ・近隣の特別支援学校を訪問し、吹奏楽の演奏やダンスの発表などを披露することで、障害のある児童・生徒を励まし、活力を与える機会とする。
- ・近隣の中学生に模擬授業を行うことにより、高校での学習に対する興味・関心を喚起する。
- ・近隣の幼稚園を訪問し、保育実習を実施することで生徒のキャリア教育の一環とするとともに、乳幼児との交流を実現する。
- ・近隣の保育園児を招待してクリスマスコンサートを行い、乳幼児に音楽を楽しんでもらう機会とする。
- ・近隣の特別支援学校と、文化祭での作品展示などを通じ、生徒会役員の生徒同士が触れ合う機会とする。

2 実施内容

- ・近隣の特別支援学校の夏祭りや触れ合いフェアで、吹奏楽部やダンス部が音楽やダンスを披露した。
- ・3年生の生徒20名が近隣幼稚園へ出向き、保育実習をした(年6回)。
- ・部活動交流で、体験入部や合同練習などを行った(運動部10部)。
- ・特別支援学校との互いの文化祭での作品展示を通じ、生徒会同士が触れ合う機会をもった。
- ・模擬授業を行い(5教科)、中学3年生が高校の授業を体験した(50名の参加)。
- ・近隣の保育園児(約200名)を招待して、吹奏楽部がクリスマスコンサートを行った。



3 成果と課題等

【成果】

- ・近隣の幼稚園・保育所の乳幼児、特別支援学校の児童・生徒との触れ合いを通じて、普段の部活動や学習活動の成果を披露したり、活動を共にしたりする喜びを体験することが、他者と共に生きる意識を高めることにつながることを自ら確認する機会を得られた。
- ・部活動交流や合同練習などを通じて、教え合うことや伝え合うことの大切さと喜びを得られた。
- ・模擬授業や体験入部を通じ、高校及び高校生に良いイメージを抱いてもらえた。



【課題】

- ・幼稚園・保育所や中学校、特別支援学校との事前の連絡や具体的な活動内容の相互理解などが不十分なところがあり、窓口となっている教員や生徒会などが直前に混乱を来すこともあった。
- ・本校の通常授業日に公欠扱いで他校を訪問することもあり、授業を休まなければならないというマイナス面もあった。